量子構報通信路の作用素代数的取り扱い。

東京理科大学 棉靱科多科 大天推則

レザーの発見・発展と相俟で、近年、レザーによる信号の 伝送の何題が非常に重要なものとなってきている。レザーの 出現は、同波数がラジオ扱のそれの10m倍以上である之態 情報の伝送に使用することを可能にした。このようは状況下 にあって、量子力学的情報理論がレザー之による通信の基礎 として確立エルることが望まれている。

ニニでは、量子論的通信路の数学的構造を調か、情報(エントロでー)をロスロく伝達するためにはどのよう方通信 路が必要であるかを考えてみることにする。

情報理論においては、入力側と出力側の力学系(空向)が 世界と713。

2カ→≪通信器》→ 出力

ン 4つのカラネは、次の W*=ツ組 で協か 43としょう。 3カ側のW*-カラネモ (A, OM), ~(R)) でるわし、出力

側のそれを (B, O(B), て(R)) で表わすことにする。 == 1, d, B 13 242 4 Hilbert 空内 TH x K 上の単位え I を含む Von Neumann 代数であり (i.e., ACB(HP), A' = {QEBIHP) | [A,Q] = 0 VAE X} と 引 3 と , A" = (4')' = A と 13 Banach*-ct故). GOD), G(B) はそれどれ 以, B工の正規权能の全体と 53 (re., \$4 € G(\$), \$4(A) ≥0, \$9(I) = 1, 9(Ax) 1 9(A) for & Ax1A in A) . 7, 0, 7 13 R から 外及び BのX自己同型群人の強連競な実像である (i.e., X+(A) = d. X+(AB) = X+(A) X+(B), X+(A*) = X+(A)* lim 11 dt (A) - A 11 = O for bt ER, VA, BE) . 通年の量子系は出りいな空向批之云の丘の有男作用意の 全体的(H) BV 30 Hamiltonian H1=5,2生成主本3 ユニフリー作用東 ひ= eitHによって記述これるがり W*=ツ組による記述は、それの一般化に因うでいるもっで ある。

外の牧園を Bの牧園へ考立る通信路は古典的の情報理論 からの類性によって、次のよう12 定23られる。

通信紹入せとは おから外への次の条件を満す写像入の共役写像である:

(1) A 17 完全正定值 (i.e., すべつのカモN 1:312,

 $Bのえからるる <math>n \times n$ 正定値行列 (Bij) , $Bij \in B3$ を A の $n \times n$ 正定値行列 (A Bij) にうつす。)

- (2) 17 ultraweakly continuous.
- (3) $\Lambda(I) = I$.

皇金正定值号像打指可操条件付期待值の核覆ともいえる概念であり、今中、物理学の様々打領域で豊富な道舟となっているものである。(e.g., Generalized Marter of とか Paulic Marter of などを単く場合の縮的は完全超値写像である。)

通常の通信理論において、通信器のエルゴード特性がその解析のために重要な役割を演じている。そこで、我又の非可模通信器(non-commutative channel)においても、エルゴード、特性を導入しておくだ響がある。そのために、まず、いくつかの集分を主義するンとから始めよう。

IN) E 对为下心不多存款您的等多之上,长以) E 对作对して K.M.S. 导纤 E 添す状態的等分之 方 3。同樣(二) 2、I(C), K(C) 正定義 方 3。原心, ⑤(M) の即分等分 & (二計 1 2 , ex l) (不 l) a 物气的全体飞表的方 2 2 1 3。 (e.g. &= I(d), K(d), ⑤(d)))

まっ、エルゴート連信路を考えまう[3]。

< Definitions >

(1) ハ* が 皇常通信器 (Stationary channel, ハ*ENC)である とは ハ・エヒ= xto ハ, ヤヒR E 満すものをいう。

A A & SC A A* (ex I (d)) C ex I(t).

(3) /** KMS 直信路 (/* KC)

A CSC B N (Ka)) CK(E)

るの中の松露を人が(こより2 任達してとま、出力側で得られた額果から、送られた状態を言い当てうることが望しい。これで可能にする通信路として決定的通信路(deterministic channel)という概念を導入しておく[4]。

(4) ハ* EDC(8) 会 名の任意の状態 191, 25 1= のいて、ハ*9, = ハ*92 ならに、9, = 92.

最後に、W*カラストのけるエントロ co- も事入しょう[4]。 村態 $\varphi \in \mathcal{S}$ C G(A) I= 27 I I 2, φN ex \mathcal{S} の元の convex combination I= 3 所 $I \to 3$ E 2: $\exists \lambda_n \in (0,1)$, $\exists \{\Psi_n\} C \in \mathcal{S}\}$ s.t. $\sum_{n} \lambda_n = 1$, $\varphi = \sum_{n} \lambda_n \Psi_n$, $\varphi \in \mathcal{I} \times \mathcal{I} \to \mathbb{C} = \mathcal{I} \to \mathbb{C} \to \mathbb{C} = \mathcal{I} \to \mathbb{C} \to \mathbb{C} = \mathcal{I} \to \mathbb{C} \to \mathbb{C} = \mathcal{I} \to \mathbb{C}$ と主×3。ニニマー"inf"は上のような様々は分所に関して取る。 タがこのように分析ではなりとま、パタ)=のと定める。

S = K(A) $A \in I$, $S^{\delta}(\psi) = S^{K(\phi)}$, $\psi \in K(A)$,

S = IId) At \$, $S^{S}(\varphi) = S^{I}(\varphi)$, $\varphi \in Iid)$,

 $S = O(A) \ a \times 1, \quad S^{S}(4) = S(4), \quad \varphi \in O(A),$

と意めすンとにする。これのない自己的は意味をいることに

ンの 514) 17 月= B1741) のとま通年の von Neumann. エントロ もっしい一致する。

ニマの状態 P, 4 6 GON 個のあ3 多はこの相響を表めず 電と12 相対エントロCoー [1,2,5]が次のように定めら よる。

 $S(\varphi|\psi) = \{-\langle \bar{\Psi}, \log \Delta_{\bar{\Psi}, \bar{\Psi}} \bar{\Psi} \rangle$ for $\psi \ll \psi$. $\Rightarrow = 7$ ", $\bar{\Psi}$ は $\psi \circ \bar{\Psi}$ 回身分離 $\wedge 7 + \nu \sim 7$, $\Delta_{\bar{\Psi}, \bar{\Psi}}$ relative modular operator 7" あ 3。 詳しくは [/] 考. 贈.

以上の準備の下で、次の動果が得られる[3,4]。

《主要转集》

<1> INコート: 通信路, KMS 通信路は存在する。

<2> /* (EC => /* mod I(d) で SC 9 中 9 端矣

党金正定値写像 3 が存在 12 Ξ ・ $T_t = a_t$ ・ Ξ 且 $\Xi \leq \Lambda$ (3) $\int T(R)' + GI$.

(6) (A. d) 8-7-abelian (i.e. $\lim_{T\to\infty} \frac{1}{T} \int_0^T dt \, \varphi(D^*[At(A),B]D)$ = 0 for $\forall \varphi \in I(d)$, and $\forall A,B,c,O \in A$) $\forall A \in A$ $\forall x \in A$ $\forall x \in$

(7) ハ* EDCAKC 且 A ** *- 準同型 のとう SK(4) = SK(A*4) for by EKid).

- (8) $\Lambda^* \in DC(I(d)) \cap EC \implies S^{I}(\varphi) \ge S^{I}(\Lambda^* P)$ for $\forall \varphi \in I(d)$.
- (ii) $\Lambda^* \pi^* \text{ exIId}$) $L \text{ ?" bijection } \Rightarrow S^I(\phi) = S^I(\Lambda^*\phi) \text{ for } \phi \in \text{IId}$)
 (iii) $\Lambda \pi^* \times \bar{\phi}$ 同型 $7^{-1} \Lambda^* \in DC(\text{exIId})) \Rightarrow S^I(\phi) = S^I(\Lambda^*\phi)$ for $\forall G$ -abelian $\varphi \in \text{IId}$).
 - (10) 1 1 5 (00) I 2 bijection => S(4) = S(14) for \$\psi(\sigma)(1)\$.

 (11) 1(13) 7 9 0 centralizer Ay 1= 18033 x-1(12) 7,

 $S_{\Lambda(B)}(\varphi|\omega) = S(\varphi|\omega) < \infty$ or $\exists \Lambda^* | \lambda$ pair $| \varphi, \omega \rangle | | \varphi \rangle | | z$ deterministic.

《文献》

[1] H. Araki, Relative Entropy of States of von Neumann Algebras I and II; R.I.M.S. Kyoto Univ. II, 809, 1976 and 13, 173, 1977.

[2] F. Itiai, M. OHYA and M. Tsukada, Sufficiency, KMS Condition and Relative Entropy, to appear.

[3] M. Ohya, Quantum Ergodic Channels in Operator Algebras; Res. Rep. on Inform. Sci. A-69, 1980.

[4] M. Ohya, Entropy Transmission in Non-Commutative Dynamical Systems; preprint.

[5] H. Umegaki, Conditronal Expectation in an Operator
Algebra III and TV; Kodai Math. Sem. Rep. 11, 51, 1959
and 14, 59, 1962.